

オーストリア下院選挙（578号）

2024年 10月 石館

オーストリアで10月29日、国民議会（下院、183議席）選が投開票された。選管当局の発表によると、極右の親ロシア政党、自由党が29.2%の得票率で58議席を獲得し、第一党になった。ネハンマー首相の中道右派、国民党の獲得議席は52にとどまり、第2党になる。連立与党は過半数を失い、今後は自由党を中心とする連立政権が樹立されるかが焦点になる。

自由党は1956年にナチスの親衛隊の元幹部が結成した。



ナチス擁護発言で非難を浴びたハイダー前党首時代に右傾化して党勢を拡大し、ロシアのプーチン政権の与党とも協力関係を築いた。2000年と17年の下院

選の躍進後連立政権入りしたこともある。



オーストリア自由党のヘルベルト・キクル党首(中央)

自由党キクル党首

今回の選挙では政敵へ激しい攻撃で知られるキクル党首が不法移民の国外追放やウクライナへの支援停止、反イスラムといった政策を前面に打ち出した。

経済の低迷や高インフレに苦しむ市民の不満の受け皿となった。他の主要政党はキクル氏の参加する連立政権に参加しない方針を示している。緑の党の元党

首でもあるファン・デア・ベレン大統領はキクル氏への首相指名に否定的な考を表明しており、連立協議は難航する可能性がある。

ドイツでも9月の東部3州の州議会選で、親口の極右政党“ドイツのための選択肢（AfD）”が躍進した。

中東欧で極右の親口勢力が伸長している



長引く経済の低迷で、生活苦にあえぐ市民に排外的な極右の主張が支持されやすくなっている事情が極右の躍進の背景にある。

極右の伸長が続けば欧州連合のウクライナ政策を巡る結束にも悪影響を与える。

“我々は常に政治を率いる準備は出来ている”自由党のキクル党首は、同党が史上初めて第1

党になった選挙結果を受け、自らを首班とする連立政権を目指す考えを示した。国民党と緑の党による現在の連立与党は過半数を下回った。

21年に党首となったキクル氏は“人民首相”など1930年代のナチ的な用語を頻繁に使い、独裁者ヒットラーにも比せられる政敵への攻撃の激しさと知られていた。それだけに自由党の第一党への躍進は、オーストリアの戦後政治の転換点と受け止められている。

ファンデアベレン大統領は各党に新政権樹立に向けた協議に入るよう指示した。他の主要政党は一様に、キクル氏が参加する連立政権には参加しない姿勢を崩していない。同氏の首相就任への道は険しく、協議は難航する可能性がある。

ただ第一党になった自由党が議会での影響力を増すことは間違いない。同党はロシアのプーチン政権の与党とも協力関係にあり、ウクライナ支援を絞るなど外交面でロシア寄りに傾斜する懸念も広がる。欧州の他の極右の親口派勢力は

今回の選挙結果を歓迎した。ドイツの東部3州で勝利した AfD のヘッケ氏は“オーストリアだけの勝利ではない。欧州の進歩の良い兆候だ”とツイッターに投稿した。

イタリアで最も親口的な連立与党“同盟”のサルビーニ副首相は声明で“変化の名において歴史的な日”だと評価。対ロ政策で EU との対立を深めるハンガリーは“国境を越えた愛国者たちのもう一つの勝利だ”と述べた。

小生は初めてオーストリアに入ったのは55年前で、それ以来数えきれないほど入ったが、世界100カ国以上行った中でも最も好きな国であった。



ハルシュタット湖

ハルシュタットは塩の街とも言われ世界最古と言われる2500年以上も前の岩塩坑があり、現在も採掘がおこなわれている。ここの岩塩を買って今でも家に置いてある。

岩塩はかつて“白い黄金”と称されるほど高価で、その富により山と湖に溶け込む街並みが維持されてきたハルシュタット、今も往時の姿を湖岸に浮かべ“世界の湖畔で最も美しい”と讃えられている。この街の小さなホテルに家族で泊ったことがあるが忘れえない思い出となった。



ウィーンのシェーンブルン宮殿

首都のウィーンは第一次世界大戦までは、オーストリア・ハンガリー帝国の首都として、ドイツ帝国を除く中東欧の大部分に君臨し、さらに19世紀後半までは神聖ローマ帝国やドイツ連邦を通じて、形式上はドイツ民族全体の帝都であった。かつてヨー数か国を

支配したハプスブルグ家のオーストリア帝国の首都であった。マリア・テレジア女帝時代に栄えた市街は、フランツ・ヨーゼフ1世の治下で整備された。

リングと呼ばれる環状道路とその周辺の地区は、ウィーンの近代化を実現するために19世紀の後半にかけての旧市街を囲んでいたグラシと呼ばれる防御用の空き地を利用して造られたものである。



ウィーンを中心部にあるシュテファン大聖堂

シュテファン大聖堂や旧市街地を含む歴史地区は“ウィーン歴史地区”の名称で2001年にユネスコ世界遺産に登録された。ここには旧王宮であるホーフブルグ宮殿（現在は大統領官邸や博物館、国立図書館などとして使用）・ウィーン国立歌劇場・ブルグ劇場・自然史博物館、中央駅に近いベルベデーレ宮殿などが含まれる

現在のウィーンは、国際機関本部の集積地となっており、日本政府も在ウィーン国際機関日本政府代表部を置いている

オーストリアでは23年、実質経済成長率がマイナス0.8%に落ち込んだ。一方消費者物価指数の上昇率は7.8%と22年と同水準に高止まりした。同国国民一人当たりの中東やウクライナなどからの難民の受け入れ数は、EU圏内で最も経済停滞の一因となっている。

EUの欧州委員会は、ウクライナ支援に消極的な親ロのハンガリーとスロバキアを問題視してきた。ただ、GDPがハンガリーの2.6倍で政治的影響力も強いオーストリアが自由党の政権参加で親ロに傾けば、EU全体のウクライナ支援にも逆風になるのは間違いない。オーストリアの政権がどうあろうとも世界の宝ともいえる、美しい景観と戦争に破壊されなかったハプスブルグ家の宮殿等大切に守ってもらいたいと切に願うものである。